

松本市地域づくり推進交付金実績報告書(抜粋)

(申請者)波田まちづくり協議会

1 交付決定額

I	金	800,000 円
---	---	-----------

2 本年度実績の報告

(1) 本年度の交付金事業の報告

① 事業名： 地域福祉・健康づくり推進事業	
実施主体	絆づくり推進会議、波田まちづくり協議会
実施日(期間)	令和5年5月～令和6年3月
実施場所	地区内一円
事業概要	<p>1 地域包括ケアシステムの推進</p> <p>(1) モデル町会推進事業への支援 事業実施に係る打合せ会議の開催(5回)</p> <p>2 地域づくりシンポジウムへの支援</p> <p>(1) 地域づくり講演会</p> <p>ア 開催日 令和5年8月19日(土)</p> <p>イ 開催場所 波田文化センター アクトホール</p> <p>ウ 内容</p> <p>(ア) 講演1 演題「古い支度講座～「自己点検ノート」を使って老いの準備運動をはじめよう！」～ 講師 古い支度クリエイター 石黒 秀喜(ひでのぶ)氏</p> <p>(イ) 講演2 演題「身近で見守り・支えあい～見守り安心ネットワークについて」 講師 松本市社会福祉協議会 西部地区センター</p> <p>(2) 地域づくりシンポジウム</p> <p>ア 開催日 令和6年3月2日(土)</p> <p>イ 開催場所 波田文化センター アクトホール</p> <p>ウ 内容</p> <p>(ア) モデル町会推進事業 事例発表 2区、20区、23区町会</p> <p>(イ) 活動報告「波田くらしの支えあい情報」の検証について 波田地区 生活支援員</p> <p>(ウ) 講演会 演題 「認知症と共に暮らせる社会をつくる～成年後見業務から見えてくるこれからの地域共生のあり方～」 講師 松本市行政相談委員:特定行政書士、社会福祉士 宮澤 優一 氏</p>

地域づくりの 成果・効果	町会役員等や地元で暮らす市民に向けた取組みや支援を進めたことにより、地域でのつながりが深まった。			
課 題	地区(町会)の実情等に応じた学ぶ機会の提供、関係機関とより一層の連携・交流の推進、ボランティアの育成・支援等			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	500,281 円	490,000 円	円	10,281 円

a : 本年度の交付金額のうち、この事業に充当した額

b : 前年度の交付金の繰越額のうち、この事業に充当した額

c : この事業に充当したその他の財源の額

② 事業名：波田地区地域連携事業				
実 施 主 体	各実行委員会組織等、波田まちづくり協議会			
実施日(期間)	令和5年5月～令和6年11月			
実 施 場 所	波田地区内			
事 業 概 要	<p>1 万葉植物園草刈りボランティア作業</p> <p>(1) 松本市立病院南西側の万葉植物園について、協議会会員によるボランティアで草刈り作業を実施した。</p> <p>(2) 実施日:6月25日(日)、8月19日(土)</p> <p>2 緑化推進への協力</p> <p>(1) 波田花のある会の活動に協力し、三溝フラワーズーンにおける協議会区画の維持管理及び実施主体への消耗品代の補助を行った。</p> <p>(2) 実施期間:5月～11月</p>			
地 域 づ くり の 成 果 ・ 効 果	<p>1 地区内の各種団体と連携し事業活動を活発に行うことで、地域住民の地域づくりへの参加と主体性を促すことができた。</p> <p>2 事業への支援を行うことで、協議会の運営に主体性が生まれ、自らが住んでいる地区を良くしようとする心を育むことができた。</p>			
課 題	<p>1 住民や各種団体と連携し、地域課題に対し協働して解決しながら、「生き生きと輝くまち」の実現を目指していくことが課題である。</p> <p>2 地域の魅力や財産を継続するため、次に続く人材が必要不可欠であり、担い手育成の事業に力を入れる必要がある。また、若い方が各種事業に参加する仕組みを検討する必要がある。</p>			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	258,407 円	250,000 円	円	8,407 円

③ 事業名：防犯・防災の地域づくり事業				
実施主体	波田まちづくり協議会			
実施日(期間)	令和5年6月～令和6年3月			
実施場所	地区内一円			
事業概要	1 防災研修会の開催 (1) 開催目的 各地で発生している大規模災害を踏まえ、大規模災害に備えるための地域の取組みについて情報共有するもの (2) 開催時期 6月25日(日) (3) 経費 講師謝礼及び啓蒙グッズ作成代 2 あいさつ運動への協力 (1) 実施主体 波田中学校生徒会 (2) 実施時期 4月～12月のうち、各月2日間 (3) 協力内容 中学校生徒会とともに通学の小学生等の道行く方々への声掛け(あいさつ)の実施			
地域づくりの成果・効果	研修会の開催や住民への声掛けを通じて、防犯・防災意識の高揚を図るとともに、地区の一体感を醸成する。			
課題	住民や各種団体と連携し、地域課題に対し協働して解決しながら、「生き生きと輝くまち」の実現を目指していくことが課題である。			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	67,190 円	60,000 円	円	7,190 円

※ 事業が4以上ある場合は、枠を増やして記載すること。

決算額(計) (①+②+③)	A+B+C	財源内訳		
		A	B	C
	825,878 円	800,000 円	円	25,878 円

A：各事業のaの合計額

B：各事業のbの合計額

C：各事業のcの合計額

(2) 本年度の積立実績の報告

事業名:						
積立目的						
積立期間	年度から 年度まで (本年度 年目)					
積立ての目標金額	円					
積立実績	区分	積立額	積立事業への積立金充当額	差引累計		
	前年度までの積立経過	1年目	円	円	円	
		2年目	円	円	円	
		3年目	円	円	円	
		4年目	円	円	円	
		5年目	円	円	円	
	本年度の積立実績	D	円	E	円	
合計額						
本年度積立金を充当して実施した事業の概要						
実施主体						
実施日(期間)						
実施場所						
事業概要						
地域づくりの成果・効果						
決算額	E+G	財源内訳				
		E	G			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">積立継続(年度まで)・廃止</td> </tr> <tr> <td>廃止する場合は、積立金残高(F)の処理方法</td> </tr> </table>					積立継続(年度まで)・廃止	廃止する場合は、積立金残高(F)の処理方法
積立継続(年度まで)・廃止						
廃止する場合は、積立金残高(F)の処理方法						

E : 充当した積立金の額

G : その他の財源の額

(3) 本年度の交付金のうち、翌年度に繰り越す金額の報告

I-A-D	金	円
-------	---	---

[参考]繰越上限額 = I × 2 / 10

3 添付書類

- (1) 事業実施が確認できる資料(チラシ・パンフレット、写真、新聞記事等)
- (2) 積立をおこなった場合は、松本市地域づくり推進交付金積立承認通知書の写し